

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style

[ビズスタ東京]

特別版

2025 09

『Biz Life Style』は東京、神奈川、関西、
仙台、福岡、広島にて46万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

本紙はスポンサー様の協賛により制作しております。

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは

TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作／株式会社ディリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2025 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



日本のソファ市場に新風、韓国「JAKOMO」初上陸。

心地よさや機能性、インテリアとしてのデザイン性。どこにも出かけない休日なら、1日の大半を過ごす場所ともなり得るソファは、ベッドとともに最も厳しい目で選んばべき家具かも知れない。掛け心地は当然として、そこにあるだけで気持ち落ち着つかせ、安らぎ感まで求めるなら、安易に流行や定番に流されるわけにもいかない。自分と家族のスタイルを大切に、しっかりと選びたいものだ。

そんな中で、新しい提案が舞い込んだ。上の写真は、韓国のソファ専門ブランド「JAKOMO(ジャコモ)」の製品。同国ではトップクラスの認知度と好感度を獲得する老舗で、日本では先ごろ上陸を果たしたばかりの新鋭となる。

優れたデザイン性と素材の質感が伝わってくる1枚だが、この写真で初めてJAKOMOのソファを見る方も多しはず。なぜこれまで触れる機会がなかったのか。同社は来年で40周年を迎えるが、実はこれまでは韓国国内でしか展開していなかったのだ。海外進出は日本が初ということ、インテリア界に文字通りの新風を吹き込む存在として注目を集めている。

日本ではフランスベッド株式会社、が正規代理店を務める、まだ見ぬ実力派。今回は、両者の出会いのエピソードなどを交えながら、韓国JAKOMOの魅力を紹介したい。

My Favorite Life Style



今もオーダーを受けてから手づくりする職人ブランド。韓国でのみ流通していたJAKOMO、その実力と初の海外進出に日本を選んだ経緯。

グローバルゼーシンの波は依然として活発で、各業界とも海外製品が押し寄せる昨今。だがインテリア業界には、意外に身近な場所に「まだ見ぬブランド」が存在した。

韓国「JAKOMO」は、前身である在京家具産業会社の設立から今年で39年目を迎えたが、これまでは韓国内の市場のみに上質なソファ製品を供給してきた。ロッテ百貨店で自社ブランド商品を展開しつつ、多数の家具小売店ともサプライヤー契約を広げて事業を拡大してきたのだが、市場に流入してきた海外の一流製品と戦いながら長年にわたり揺るぎない支持を集めてきた背景には、ひそかにソファ専門としての品質志向がある。

間もなく40周年を迎える韓国のインテリアブランド

ほかの商材に手を広げることなく、約40年もの間ただひたすらにソファのみを追求してきたことだけでも頭が下がるが、そんな同社の強い信念を感じるのが、2000年代初頭に研究開発拠点をイタリアミラノに設置していた点だ。世界の高級家具ブランドと言えば反射的に想起するイタリアだが、韓国内のみの商品展開にも関わらず研究開発拠点を欧州に置くということは、本場で学んだ技術を本国の消費者に紹介したいという真摯な姿勢の表れ。製造体制も同

には誤魔化しが利かないため、同社はただ愚直にこれに取り組む。

生産図面が完成すると木工部(骨組)、裁断部(ウレタン張地)、組立部(スプリングバンド)からなる生産工程が整えられる。JAKOMOでは、これらの全工程において各分野の専門職人が手作業で作り上げる。そしてひとつのモデルが名付けられるまで、費やされる時間は美に1000日以上かかる。そして、製品化された商品は徹底した品質確認を経て、晴れて購入者に届けられるわけだ。

素材やパーツの選択から見えない裏側まで行き渡る強いこだわり

4つの製法哲学をベースに、木材をはじめ生地や素材など世界各国からよいものだけを厳選して自社工場で生産するJAKOMOのモノづくり。当然のことながら、隅々に職人氣質のこだわりがある。

たとえばレザーモデルの張地なら、JAKOMOが使うのはヨーロッパやアメリカをルーツとする厳選された枚革のみ。これは、規格と品質の均一性を高める製品づくりの象徴的な例と言える。同社独自の技術により柔らかな質感と優れた弾力性を両立するのだが、生産の効率性を犠牲にしても多くのモデルに枚革のこだわり抜く姿勢は同社の真骨頂と言える。フアフ

様で、大量生産に走ることなく現在も専門職人の手作業を貫く。オーダーを受けてから一点一点を造り込むからこそ、購入者に感動を呼ぶのだ。

こうして長きにわたる機能的でデザイン性の高い製品づくりを貫いてきた同社は、韓国内に多数の愛好家を獲得。梁山(ヤンサン)に初めての直営店を開店した後は、フランスの後押しを受けながらロッテ百貨店や新世界百貨店、アイパークモールなど大手百貨店への出店を重ねる。その結果、現在では韓国内では認知度、好感度ともに最も高いインテリアブランドのひとつへと成長。現在では直営店4店、百貨店の37店を中心

リックモデルも同様で、ヨーロッパより取り寄せた張地は耐久性はもうぜん汚れやシミ対策にも万全を期す。また、ハイレベルなイージークリーン機能を備え、手入れも容易に行えるよう配慮。内部のウレタンは弾力性と復元力を担保するために密度の高さにこだわり、文字通りのコンフォートフォームを実現している。

こうした同社のこだわりについて、もうひとつ紹介しておこう。ソファづくりでは、クッション性を確保するためにウェービングバンドというパーツが使われるのだが、JAKOMOではイタリアのバンド専門メーカーの純正品を採用。ソファ用として同社の共同研究で開発した独自方式を導入したもので、10年ほど経っても変形しにくい性能を付与する独自のコーティング技術も組み込まれている。もちろん、韓国内での流通では独占使用契約を締結しているため、競合に対する優位性を獲得。なお、かつての研究開発拠点も含めてイタリアとは結びつきが強く、接着剤も同国製を採用しているとか。

加えて、造りにおいても実に芸が細かい。たとえば、ソファの布地を張る際にはタッカーと呼ばれる留め金で固定をする。椅子を逆さまにするとスチール製の針のような金属が見えるのだが、何とこの見えない部分にリボン張るというのだ。普

に、60拠点以上のショールームを展開するほどに販路を広げている。

創業から今日まで大切に守り続けている「4つの製品哲学」

まずは50年、そして100年にわたり存続するソファブランドへ、販路の前に、JAKOMOの視点は未来のモノづくりに向いている。たとえば、技術の継承と人材の育成のために、社独自の職人養成機関を設立。ソファブランドが自前の教育システムを展開するのは韓国内でも初めての事例と言いつても過言ではない。同国のインテリア業界でどんな地位にあるのかが想像できるだろう。

初の海外進出の契機は韓国ドラマのシーン!?

前述の通り、JAKOMOの販売は、日本ではフランスベッドが正規代理店を務める。きっかけは、同社インテリア商品企画課の宮下直昭課長がたまたま家族で観ていた韓国ドラマだったという。作品中では印象的なインテリア製品が多数使われていたが、中でも画面で映るソファを調べると、いずれもJAKOMO製品だったのだ。

近年は、音楽やテレビ

JAKOMOにはブランド創設時から現在まで揺るぎなく守り続けている「4つの製品哲学」がある。「正直な素材選び」「思いやりのある心を込めた設計」「厳格な品質管理」「適正な価格」だ。

ソファ製品の企画は、世界のインテリア市場の綿密な調査でトレンドをつかみつつ、自社の技術やラインナップと照らし合わせながら進行的。デザイン画や図面をもとに工場側とともに検証を行い、機能性や実用性を高めていくのだが、「理想の製品へ」と行き着くまでには品質管理面からのチェックも含めて何度も検証を繰り返す。先の「4つの製品哲学」を全うする

ドラマ、グルメ商品、コスメなど韓国文化は身近なものとなったが、ソファ製品は新しいのでは。デザインが美しく高品質しかも哲学も素晴らしいとなれば、日本のインテリアファンにも受け入れられるはず。そんな考えから調べる

ほどにJAKOMOに惹かれた宮下氏は、やがて訪韓。百貨店のリサーチで手応えを得てショールームを訪問し、独自技術の詳細からインテリアの豊富さまで同社のモノづくりを学んだ末に、自社での取り扱いの検討を本格的に開始したわけだ。

ドラマの視聴から始まった縁。深まる両社の絆については、次のページでご紹介しよう。



フランスベッド株式会社 インテリア商品企画 課長 宮下 直昭 氏



JAKOMOの世界観を確認しながら その場でオーダーできる 家具専門店。

**ゆとりの座り心地は
韓国家庭の寛ぎスタイル**

実際にJAKOMO製品に触れてみると、多くの人はサイズにゆとりがあることに気付くだろう。その理由は、韓国のライフスタイルにある。

韓国ドラマに登場する一般住宅は、玄関を開けるとすぐにリビングルームがある家が多い。居室もリビングに直結しているので、家族が自分の部屋に戻る時は必ずリビングを通ることになる。家族の絆を大切に考える人が多い韓国の住宅は、リビングを中心とした間取りになっているのだ。家族が集まる居心地の良い場所には、身体を伸ばして寛げるソファが欲しい。そんな意識から、座面の奥行きを深く持たせ、長時間座っても疲れにくいようにサイズが大きめに作られているわけだ。

今回上陸にあたり日本の住環境に合わせたサイズ提供もこなっており、日本は

韓国と体格や生活様式も似ているため、程よい硬さやシート高など日本人も大変座りやすいソファとなっている。

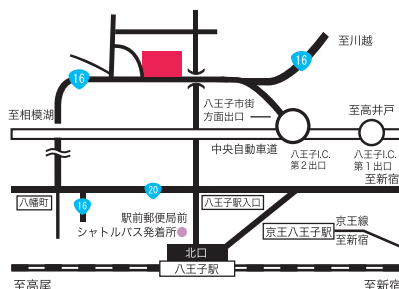
**村内ファニチャーアクセス
八王子本店に、
韓国発の人気家具ブランド
JAKOMOが登場！**

村内ファニチャーアクセス八王子本店では、JAKOMO製品が実際に試したいだけです。展示にあたっては日本と韓国の空間デザインチームが連携し、展示コーナーでは壁紙の色やソファの前に敷くラグなどの装飾品までを同チームがコーディネートするなど、ブランドが描く世界観が正確に表現されているので、一見の価値アリだ。広い店内の中でも人気のブランド家具を多数取り揃える北2フロアの中心となる場所にJAKOMO製品を展示。展示の製品は実際に座つてその感触をお試しいただけるので、JAKOMO製品の魅力を充分にご堪能いただけます。

ソファの張り地はレザーは5種、ファブリックは5種がラインナップされており、カラーは約95色から自由に選べる。また、ショールームでは60×60cmという大きめのサンプルを常備。座り心地を確認しながら実際に製品に巻き、これまで経験したことがあるソファとはまた異なるJAKOMOの個性を確認することもできる。

Biz Life Style Pick up

国内最大級の家具専門店にて韓国発・上質ソファブランド JAKOMOを体感



敷地面積約33,000㎡、売り場面積約13,500㎡を誇る国内最大級のインテリア空間で、店内にはベッドだけで常時450台以上が並び、ソファやリビング家具、ダイニングセット、さらには学習デスクまで幅広く取りそろえている。まさしく国内外200以上のブランドを一堂に体感できる、“家具のテーマパーク”と呼ぶにふさわしい施設である。その中で、JAKOMO製品をはじめとしたソファやパーソナルチェア、ソファベッドなどが展示されており、測定機や専門スタッフによる快眠サポートも充実している。

ビズスタ特典

ショールーム来場時にビズスタを見たとお伝えいただければ、
JAKOMOオリジナルエコバッグを1つプレゼント
※先着10名様限定



村内ファニチャーアクセス 八王子本店

東京都八王子市左入町787
TEL.042-691-1211 営業時間/10:30~19:00 毎週水曜定休



France Bed

<正規輸入元>

フランスベッド株式会社
https://www.francebed.co.jp

※本仕様は改善のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。 ※商品の写真は印刷のため、実際の色と多少異なる場合がございます。 ※商品のサイズにより、仕様等が異なる場合がございます。

弊社製品は厳格な検査を経て納入しておりますが、万一不具合な点がございましたら、お買い上げの販売店又は弊社相談室にお問い合わせください。
お客様相談室 ☎0120-39-2824 月～金:9時～12時、13時～17時 土、日、祭日、年末、年始等は除く